

湖西市立東小学校

出前授業レポート



「社会科(歴史)の学習の導入として、楽しく分かりやすい素晴らしいものだったと思います。」

湖西市立東小学校の6年生29人が、「歴史の勉強を始めよう」で、昔の人々の暮らしや文化を体験することで、歴史の学習への見通しをもてるようにすることを目的に、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験を行いました。

石器の試し切り体験

初めに発掘された本物の打製石器や磨製石器を触ってみました。また、黒曜石の塊も触ったり持ったりして、重さや表面の滑らかさなどを感じ取りました。次に、黒曜石で紙や野菜を切って、切れ味に驚きました。

「本当に切れた！昔の人って、こんな石を探ってきてすごいな。」



土器の分類体験

初めに縄文土器・弥生土器・須恵器の3つの完形土器を触ったり持ったりして、違いを確かめました。次に、3種類の土器片を分けました。縄文土器と弥生土器の違いをすぐ見分けられましたが、弥生土器と須恵器の微妙な違いを見分けるのに苦労しました。難しさを実感しました。

「難しい…。これを分別している職員さんてすごいなあ～」



火起こし体験

見たことはあるけど、実際にやったことはない子どもたちでしたから、興味津々でした。

弾み車を上手に回し始めますが、段々重くなってきて腕が痛いという子もいました。それでも、どの班も着火でき、火を起こすことが大変だということを実感していました。

「火を起こせた！今ではマッチで簡単なことでも、昔は大変だったんだ。」



先生方の感想

「社会科(歴史)の学習の導入として、楽しく分かりやすい素晴らしいものだったと思います。本物に触れることができることが特に良かったです。体験を通して学ぶものが多かったです。子どもたちに細やかにアドバイスをいただくことができたので、とても分かりやすかったです。遠いところまでありがとうございました。素晴らしい体験になりました。」

